

第3学年 英語科学習指導案

時間・場所 3校時 3年集会室

生 徒 3年5組17名(男子8名女子9名)

指 導 者 及川 頌子

1 単元名 Program 8 Clean Energy Sources (SUNSHINE ENGLISH COURSE 3 開隆堂)

2 単元について

(1) 生徒観

英語を音読することを得意とする生徒が多く、発音に注意して英語らしく丁寧に読もうとする。しかし長文内容の読み取りでは、根気強く取り組む習慣が不足しているため、苦手とする生徒が多い。3年5組の生徒は比較的小となしく、挙手や発言は多くない。間違いを恐れず自分の意見を発表したり、積極的に授業に参加したりできるような指導を心がけたい。

(2) 教材観

本単元では、風力発電、太陽光・太陽熱発電、波力・地熱発電といった自然の力を利用した再生可能エネルギーによる発電について英語で学習する。2011年3月11日に日本を襲った東日本大震災は、日本の原子力防災指針の想定を簡単に超え、日本のみならず世界中の関心事となった。ここでは、再生可能エネルギーの重要性や、有限である化石燃料について学び、震災で被害を受けた地域に住むひとりとして、原子力発電について、また地域に適した発電方法についても考えていきたい。言語材料としては、目的格の関係代名詞 **which/that** を扱う。前単元では主格の関係代名詞 **who/which/that** を学習しているため、既習の知識を活かすとともに、違いに注意して学習をする。

(3) 指導観

関係代名詞の主格と目的格の違いを理解し、短い英文の読み取りや自力で英作文をすることを意識して学習させていきたい。少人数指導の良さを生かして発表の機会を増やし、間違いを受け入れる温かい学習環境、教え合いなどの場面を意図的に作り生徒の達成感を高める指導の工夫をしていきたい。

3 単元の目標

- (1) ペアワークに積極的に取り組み、コミュニケーションを図ろうとする。
- (2) 自分の考えや事実を口頭で発表する。
- (3) 再生可能エネルギーにはどのようなものがあるか読み取る。
- (4) 目的格の関係代名詞 **which/that** の用法を理解する。

4 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
ペアワークに積極的に取り組み、コミュニケーションを図ろうとする。	自分の考えや事実を口頭で発表することができる。	再生可能エネルギーにはどのようなものがあるか読み取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・目的格の関係代名詞 which の用法を理解している。 ・目的格の関係代名詞 that の用法を理解している。

5 学習計画 (全7時間)

- ①関係代名詞 **which** を使って、ものについて詳しく説明することができる。 . . . 1時間 (本時)
- ②関係代名詞 **that** を使って、人やものについて詳しく説明することができる。 . . . 1時間
- ③関係代名詞 **which/that** の省略形を使って、人や物について説明することができる。 . . . 1時間
- ④p.75の内容を理解し、発音に注意して音読することができる。 . . . 1時間
- ⑤p.77の内容を理解し、発音に注意して音読することができる。 . . . 1時間
- ⑥p.79の内容を理解し、自分の地域に適した発電方法を考え、発表することができる。 . . . 1時間
- ⑦まとめ・確認テスト . . . 1時間

6 本時の指導（1／7）

(1) ねらい 関係代名詞（目的格）which を使って、ものについて詳しく説明できるようにする。

(2) 展開

学 習 活 動	学 習 内 容	指導のための工夫・評価
1 2分前学習	○Topic Talk ・提示されたトピックについてペアで会話する。	◇本時の流れが分かるように、あらかじめ Today's Menu を掲示する。☐ ◇理解を助けるために、ピクチャーカードや紙板書を提示する。☐
2 あいさつ	○Greetings ・教師と英語であいさつをする。	
3 本時の見通し	○Today's Goal ・教師によるインストラクションのクイズで、本時の学習事項に触れ、学習内容の概要を把握する。	
関係代名詞 which を使って、What's this?クイズを作り、学級で交流ができるようにしよう。		
4 課題追求	○Task 1 (1) Basic Dialog ・教師が Basic Dialog のターゲットセンテンスを用いた”What's this?”クイズを出題する。基本文を確認する。 (2) Listening (3) Speak (4) Try ・ペアで新出文型を練習する。 ○Task 2 目的格の関係代名詞 which を使って、指定された題材についてのクイズを考える。 ・グループで順番に1人1題ずつ出題し、交流する。(3～4人)	◇ペアワーク ・ペアワークに積極的に取り組み、コミュニケーションを図ろうとしているか。【関心・意欲・態度】(観察) ◇グループワーク ・目的格の関係代名詞 which の用法を理解しているか。【言語・文化】(ワークシート)
5 まとめ	○Conclusion ・グループの代表1名が全体に発表する。	・自分の考えを英文で表現することができるか。【外国語表現の能力】(ワークシート・観察)
6 振り返り	○Reflection ・本時の振り返りをシートに記入する。	◇学習チェックシート ・本時の学習における自分をメタ認知する。また、他者の良さを認める。
7 次時の確認	・次時の予告や家庭学習の確認をする。	